食と農のわくわくSDGs学習推進事業

1. 令和7年度実績額　　2,957千円

※事業費の一部に基金を充当（1,479千円）

2. 成果・効果

22校が学習に取り組み、各校の成果を実践事例として取りまとめた。あわせて、R5に導入したアグリパーク食品加工支援センターの微細粉米粉製粉機を市立小中学校へ周知し、学習活用を促進した。さらに、国際映像メディア専門学校と連携し、市の農業の魅力や現状を紹介する教材動画を新たに4本制作・公開した。

数値的な指標	R3	R4	R5	R6	R7
食と農のわくわくSDGs学習実施校数	―	5	15	18	22(+4)

【現況・傾向など】

R8は意欲ある学校からの申請により計32校（大学6、専門4、高校1、中学4、小学17）が学習を実施予定である。R7と比較し、微細粉米粉製粉機を活用した調理実習や商品開発・販売に取り組む学校の増加が見込まれる。また、これまでに制作した教材用動画の再生回数は年々増加している。

3. 今後の方針

市の食と農の魅力発信に向け、学習協力人材のリストを充実させるとともに、講師謝礼や交通費の支援内容を見直し、学校が利用しやすい制度へと整備する。あわせて、実践事例の提示と計画作成支援により実施校を拡大し、多様な事例の蓄積を図る。さらに、時代の変化に対応し、教育委員会と連携して農業体験学習全体の見直しを進める。



もち麦製品の販売活動



講師による講演



アグリパーク米粉製粉機利用